

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Pal教室NEO		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 7日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 2日		2026年 3月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 4日		

○ 分析結果

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
--------------------------------------------	-----------------------	----------------

1	将来に向けた療育を日々考案し、実施しています。	集団や個別療育する中で、自分たちに何が不足しているかを聞き取り、それに伴い、選挙の仕方や契約をすることの恐ろしさなどを知識として吸収してもらいたいと強く想っています。この事業所内で行うことが現状限られてしまっていますが、今後も増やしていきたいと思っています。	新年度より体制が大きく変わります。そのためできることも増えると思いますので、またチームで話し合いを行い、利用者様とのニーズに合わせた療育を目指していきます。
2	職業体験を積極的に活動に組み入れています。	富士見市にある「バルカフェ」へとつなぎ、職業体験を行いました。中学生以上を対象に取り組みました。お金を稼ぐとはどういうことをするのか、地域の身近にあるカフェはどういう仕事なのか。将来の就職選びやバイトをする自信を蓄え、何かのきっかけになればと考え、実施しました。	今後は、もっと幅広い職業を体験できるよう考案して努めて参ります。
3	自立サポート支援・自立通所支援等を算定し、保護者と本人の許可を取り、実施しています。	現在、計4名の利用者に実施しています。自立サポートでは職業体験や、買い物学習などを行い、通常よりも長い時間で実施しています。自立通所では駅からNEO教室まで。または自宅からNEO教室までの道のりを徒歩や自転車を使用して行っております。高校生になった時に一人で通学することの不安を解消するために行っています。	今後は、電車やバスなどの公共交通機関を利用したことも検討しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の人員不足により、規模の大きな活動が行えていません。	その中でも職員と連携し、日々この中で何ができるのか模索しながら考えて立案しています。	新年度は職員の人数が増えることもあり、様々な活動ができることを考えています。
2	部屋のスペースが狭いことで、活動の内容が縮小してしまいがちです。	限られたスペースで行えることを連携して立案しています。保護者様への説明も徹底し行える活動に取り組んでいます。	より、楽しめる活動などを考案し、立案に向けて取り組んでいきます。
3	地域と連携した取り組みが少ない。	職業体験を行い、少しでも取り組んでいます。	相談支援先にも働きかけ、さらに外出できる機会なども実現に向けて動き出しています。